

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法 科目コード：130034 精神看護方法論演習 Practice:Psychiatric and Mental Health Nursing					
担当教員	美濃 由紀子、大江 真吾、川俣 文乃、宮本 満寛（非）				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院等の勤務経験がある。				
開講年次	3年次前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	精神障害がある人と家族への看護、精神科看護技術、紙上事例展開				
学習目的・目標	【目的】 精神科看護の対象となる人に必要な精神看護技術について理解する。 精神科看護の対象となる人に適切な看護過程を展開する能力を身につける。 【目標】 1. 精神科における看護技術について説明できる。 2. 対象の主体性を重視した看護について説明できる。 3. 対象の強みに着目した看護について説明できる。 4. 家族へのアプローチの具体的手法について説明できる。 5. 対象の健康状態をアセスメントできる。 6. 対象の健康状態に応じた看護計画を立案できる。 7. 対象の退院後の生活を想定した看護を考えることができる。 8. カンファレンスで自分の意見を述べ、議論を深めることができる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1-2	イントロダクション 援助関係の形成・感情活用能力 看護場面の再構成法				美濃・大江・川俣
3-4	【講義・演習】１）統合失調症患者への看護：事例提示、情報の整理、グループワーク				美濃・大江・川俣
5-6	【演習・発表】１）統合失調症患者への看護：グループワーク、発表				美濃・大江・川俣
7-8	【講義・演習】２）気分障害患者への看護：事例提示、情報の整理、グループワーク				美濃・大江・川俣
9-10	【演習・発表】２）気分障害患者への看護：グループワーク、発表				美濃・大江・川俣
11-12	【講義・演習】３）神経発達症群／自閉スペクトラム症患者への看護：事例提示、情報の整理、 グループワーク				美濃・大江・川俣
13-14	【演習・発表】３）神経発達症群／自閉スペクトラム症患者への看護：グループワーク、発表				美濃・大江・川俣
15	実習に向けて 特別講義				宮本・美濃・大江 ・川俣
教科書	岩崎弥生、渡邊博幸（編集）：精神看護学① 精神看護学概論・精神保健 第5版、メジカルフレンド社、2019 岩崎弥生、渡邊博幸（編集）：精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 第5版、メジカルフレンド社、2019 上田敏（著）：ICFの理解と活用、初版、萌文社、2005				
参考図書等	渡辺雅幸：専門医がやさしく語る はじめての精神医学 改訂第2版、中山書店、2015				
評価指標	授業回数の2/3以上の出席者のみ評価対象とする。 演習の課題50%、事例のグループワーク30%、ミニテスト20%				
関連科目	哲学、生命倫理学、心理学、臨床心理学、社会福祉論、疾病・障害論Ⅲ(精神)、精神看護学概論、精神看護方法論、 地域精神保健看護論、精神看護学実習				
教員から学生への メッセージ	★後期の実習に向けて、基礎力・実践力を養います。復習として、2年次に学習した概論、方法論、疾病・障害論Ⅲ を復習してください。 ★演習で用いる資料は、実習記録用紙に準じています。実習で活用できる資料を自分で作成してください。 ★コミュニケーション能力を向上させるため、4名のグループで話し合う学習形態をとります。 以上のように、実習がイメージしやすい授業を考えています。積極的に学んでください。				